国立市公民館主催・文学講座〈くにたちブッククラブ〉

ーなぜ、その道を選んだのかー

▲詳細HP

私たちの毎日は選択の連続です。その選択には必ず理由が存在します。一見不合理ともいえる行為の奥底にも、その人なりの理由があるのです。社会はあまりにも分断されてしまっていて、他者の行為に対して理解しようとする心があらかじめ塞がれてしまっています。自分とは異なる価値観をもつ他者の選択の理由を「文学」を通して考えてみる、というのが今年度のテーマです。自分では絶対に選ばない道を、ためらいもなく進んでいく作中人物から受け取る心のざわめき、不穏な感動……。そんな自分の読書体験について語り合いましょう。（講師の山岸さんからの言葉）今年は次の作品を読んでいきたいと思います。ぜひご参加ください。

月日	作品	講師
5／14（木）	芥川龍之介『藪の中』（新潮文庫） ※文庫の書名は『地獄変・偸盗』。上記文庫の中に収録。	山岸　郁子 （日本大学・日本近代文学）
6／11（木）	羽田圭介『スクラップ・アンド・ビルド』（文春文庫）	深津　謙一郎 （共立女子大学・日本近代文学）
7／9（木）	朝比奈秋『植物少女』（朝日文庫）	尾崎　名津子 （立教大学・日本近現代文学）
9／17（木）	野上弥生子『真知子』（ちくま文庫）	小平（おだいら）　麻衣子 （慶應義塾大学・日本近代文学）
10／8（木）	高瀬隼子（じゅんこ）『おいしいごはんが食べられますように』（講談社文庫）	大木　志門 （東海大学・日本近代文学）
※11月（木）	市川沙央『ハンチバック』（文春文庫）	榎本　正樹 （文芸評論家・現代日本文学）
※12月（木）	桐野夏生『日没』（岩波現代文庫）	佐藤　泉 （青山学院大学・日本近代文学）
1／14（木）	武者小路実篤『友情』（新潮文庫）	大野　亮司 （亜細亜大学・日本近代文学）

とき　夜7時半～9時半（12月は夜7時～9時）
ところ　公民館　3階講座室　定員　30名
申込先　4月14日（火）朝9時～
電話またはホームページより
公民館　☎042（572）5141

▲申込フォーム

★参加者多数の場合、市内在住・在学・在勤の方を優先することがあります。

※11月・12月は、市民文化祭の日程が決定次第お知らせします。

くにたちブッククラブに参加してみませんか？

国立市公民館では、毎年様々な日本文学作品について共同で読む「くにたちブッククラブ」という講座を実施しています。

講座では毎回、取り上げた作品の感想を参加者で共有し、講師に作品の解説をしていただきます。課題図書は、毎年参加者と講師、職員が話し合いながら決めています。

気になる作品の回だけ参加するのもアリ！　年間通して参加すれば、文学についてより深く学べること間違いなし！　まずはお気軽にお問い合わせください♪

○各回の流れ

前半1時間…参加者の感想の共有。
　1人あたり2～3分程度で簡単に感想を発表
後半1時間…講師から作品についてのお話
※前半と後半は入れ替わることがあります。

講座終了後には、参加者1名にその回の感想文を書いていただきます。感想文は図書室月報に掲載されます。

○年間スケジュール

5月～1月　「くにたちブッククラブ」各回実施
12月中旬～1月中旬
　来年度取り上げたい作品のアンケート受付
1月中旬頃　参加者と職員による今年度の振り返り、来年度の作品についての話し合い
2月中旬頃　来年度の作品についてブッククラブアドバイザーの講師を交えた話し合い

○文集を作っています！

その年に取り上げた課題図書についての感想文を掲載する文集を作成しています。一年の締めくくりに文集づくりに参加して、より一層学びを深めましょう。

※文集作成への参加は任意です。